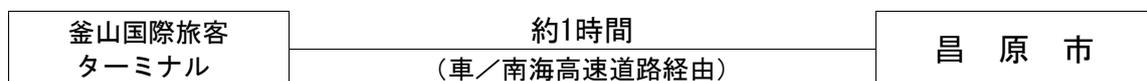
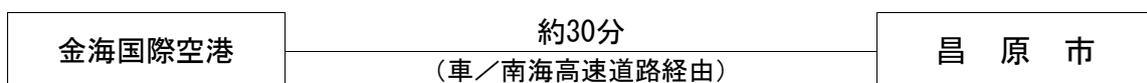
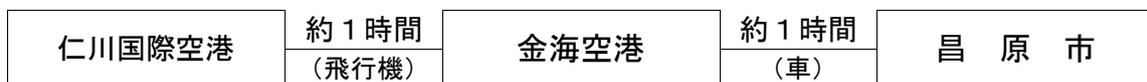


# 大韓民国 昌原市の紹介

## ◆ 基本現況

- ▷ 位置：大韓民国慶尚南道最南端に位置し、東は釜山市に隣接し、大邱市までは約100km、南は海に面している。
- ▷ 面積：747.27km<sup>2</sup>(国土の0.7%、慶尚南道の7.1%)、海岸線の長さ 324.23km
- ▷ 人口：1,091,733人(2012年 2月)、国内基礎自治体の中で 1 位
- ▷ 行政区画：5区(行政区) 2邑 6面 54洞
- ▷ 自然環境
  - 地形：東・西・北の三方を山に囲まれ、南の沿岸部にはリアス式海岸が広がる。
  - 気候：美しい四季の変化が明確に見られる温帯気候。  
※ 年間平均気温 15.5℃、年間平均降水量 1,884.4mm
- ▷ 特産品：菊、胡蝶蘭、茸、サルナシの実、甘がき、伝統菊酒、モンゴル醤油
- ▷ 地域内総生産(GRDP)：36兆ウォン(約305億USD)
- ▷ 輸出額：29兆ウォン(約245億USD)
- ▷ 教育施設：223校(小学校 105、中学校 62、高校 46、大学 6、特別学校 4)
- ▷ 医療機関：総合病院 10、医院 514、療養病院 19、歯科 260、他 241
- ▷ 社会福祉施設：2,462ヶ所(老人ホーム 1,255、保育所 944、他 263)
- ▷ 昌原市へのアクセス



## ◆ 市の特徴

- ▷ 2千年の悠久の歴史と文化を誇る鉄文化の都市
  - 城山貝塚から紀元前10世紀のものとみられる無文土器が発見される。
  - 三韓時代には東北アジア貿易の中心地として栄える。主に鉄を生産し、中国と日本に輸出
  - 600年前、義昌県と会原県が合併し、昌原府となったのが地名の由来
  - 彫刻家（文信、金・鐘瑛）、詩人（金・達鎮、李・殷相、千・祥炳）等、多くの芸術家を輩出した。
- ▷ 1974年の国家重化学工業発展戦略により大韓民国初、世界で4番目の計画都市誕生
  - 国内最長の直線道路：昌原大路(12.5km)
  - 国内最大の円形広場：昌原広場(直径 211m、円周 664m、面積 3万5千㎡)
- ▷ 2010. 7. 1昌原市・馬山市・鎮海市が合併し、大韓民国初の行政区域自律統合市となる新「昌原市」が発足。  
国内8番目の人口規模の広域都市となる。
- ▷ 中央政府から国内最多の特定都市として指定
  - 生涯学習都市、科学文化都市、科学研究団地、国際会議都市

## ◆ 市のプロフィール

- ▷ 様々な政策を実行してきた昌原市は「大韓民国政策ブランド都市」とも呼ばれ、政策先導都市として名を高めた。
  - 2004年「企業運動」実施
  - 2006年「環境首都」宣布
  - 2008年 グリーン交通革命、市民公営自転車NUBIJA導入
  - 市民と企業のための福祉支援条例制定
    - 企業(2005)、市民福祉(2006)、青年就職センター設置(2006)など

▷ 企業が活動しやすい都市

- 国産工作機械の8割、機械類の2割以上を昌原国家工業団地で生産
- 国内の物資流動量の7割以上を占める「釜山鎮海新港」を有する。
- 電気、材料、国防科学研究所と300の企業付設研究所が所在
- 馬山輸出自由地域、昌原国家工業団地、都市先端産業団地など12の産業団地を保有
- 7,200の製造業企業と国内外企業の東北アジアビジネスの中心都市  
※ GM、OTIS、SONY、NOKIA、DENSO、DELPHI、VOLVO、ALCOA、PRAXAIR、FAG、ESAB、LG、STX、SAMSUNG、DOOSAN重工業など60カ国の企業が進出

▷ 自然豊かな生態都市

- 綺麗な川と海があり、都心は緑に囲まれ、四季折々の自然に触れることができる美しい都市
- 都心各所に特色のある多くの公園が造成され、市内の河川にはヤマメが泳ぐ、自然と人間が共生する生態都市
- 冬には約20万羽の渡り鳥が飛来する注南貯水池  
(2008年ラムサール総会の際、生態見学コースとなった)

▷ 市民を幸せにする福祉教育都市

- 拠点別の大規模図書館、地区別図書館、地区別生涯学習センターの運営
- 生涯教育院、昌原I—English、英語体験センター等生涯教育インフラの構築
- 社会的弱者を救うための生活保障政策「3無政策」を実行（教育、給食、住居）
- 高齢者、障害者、女性、医療に対する政策の強化  
「4強政策」を実行し、国内一の福祉都市を目指す。
- 保育施設の専門主治医制度導入、乳児健康診査費の支援などの福祉サービスを提供

- ▷ 世界とWIN-WINするグローバル都市
    - 世界環境オリンピックとも呼ばれる2008ラムサール総会開催都市
    - 世界地方自治体連合(UCLG)の世界委員都市
    - 国際教育都市連合(IAEC)の常任理事都市
    - 2012年、国際教育都市連合(IAEC)世界総会開催予定都市
    - 2012年第4回東アジア海洋会議開催予定都市
    - UN環境計画(UNEP)公認、「2010住みやすい都市大賞」銀賞受賞
    - UCLG、IAEC、C40 など 14団体での国際機関活動
- 国内で最も多く国際機関に加入している。

## ◆ 市のビジョン

- ▷ 地域と国のバランスの取れた発展によるグローバルブランド都市
  - 旧昌原は韓国のシリコンバレーへ
  - 旧馬山は韓国のシドニーへ
  - 旧鎮海は韓国のサンベルト海洋観光ハブ地域へ
- ▷ 大韓民国の中心地、東北アジアの産業ビジネス拠点都市
  - MICE産業、知識基盤産業など次世代新成長動力産業の戦略的な育成
  - IT、ロボット、知能形ホーム産業など革新的な中小企業団地を造成
  - 科学、技術、情報中心の科学研究複合パークを造成

※ 産業学術研究R&Dセンター、グリーン成長センター、  
科学英才センター入居
- ▷ 優雅な創造都市
  - 都市全体を住みやすく便利な生活ができるようにデザイン
  - KTX運行、都市鉄道など先進国に並ぶ交通網を整備
  - グリーン交通自転車、再生可能エネルギーを活用したSolar city、Ecoタウン建設
  - ロマンチックで個性あふれる美しい都市造成

## ◆ 文化・観光

- ▷ 食 べ 物 : アンコウの蒸し物、コノシロの刺身、フグ料理、エボヤ、菊酒
- ▷ 名 所 : 注南貯水池、昌原の家、海洋ドラマセット、鎮海海洋公園など
- ▷ スポーツ・文化 : スポーツパーク、城山アートホール、文信美術館、パークランド遊園地、北面温泉など
- ▷ イベント : 軍港祭・世界軍楽議長フェスティバル(4月)、菊祭り、K-POP フェスティバル(10月) など

## ◆ 国際交流希望分野

- ▷ 行政、経済、観光、教育、環境、文化芸術、体育、保険など  
様々な分野
- ▷ 昌原市施策関連 : 企業政策、生涯教育、交通 など
- ▷ 機関・団体 : 商工会議所、研究機関、小中高大学、協会など
- ▷ 青少年交流事業 : ホームステイ、文化芸術、スポーツなど

## ◆ 大韓民国昌原市の位置

